

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Aコート	第4試合 13:30~													
<チームA> 県立春日部 埼玉 1位		73 { <table border="0"> <tr><td>21</td><td>1Q</td><td>29</td></tr> <tr><td>19</td><td>2Q</td><td>14</td></tr> <tr><td>17</td><td>3Q</td><td>23</td></tr> <tr><td>16</td><td>4Q</td><td>14</td></tr> </table> } 80		21	1Q	29	19	2Q	14	17	3Q	23	16	4Q	14	<チームB> 世田谷学園 東京 2位	
21	1Q	29															
19	2Q	14															
17	3Q	23															
16	4Q	14															

【Aブロック】

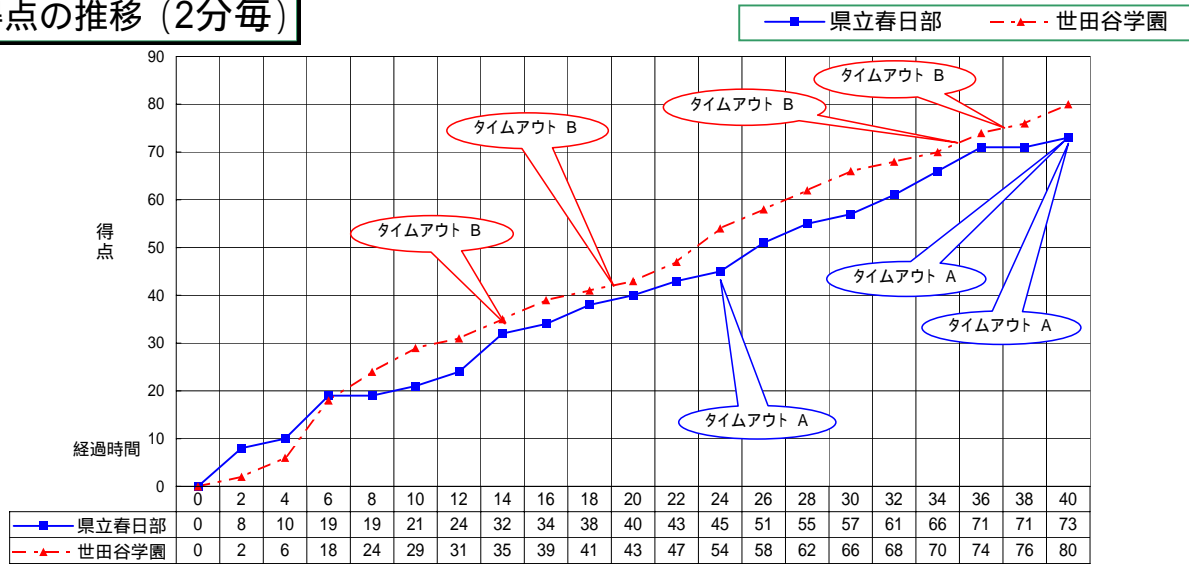
主審：山田 健一(茨城) 副審：木村 幸司(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	摩庭 大河					
	5	清水 隆亮	14		6	2	5
	6	新田 華武伊	18		9		4
	7	藤森 康平	14	2	3	2	1
	8	川崎 裕介	2		1		
	9	富澤 佑也					
	10	境 一樹	7		1	5	1
	11	高葉 龍					
	12	池澤 舜					
	13	秋元 政彦					
	14	小原 佑真					
	15	平山 大気					
	16	倉林 紀和	3	1			1
	17	時野谷 勝幸	15	1	6		3
	18	田中 颯					
コーチ		伊澤 暁					
合計			73	4	26	9	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	森淵 靖隆	6		2	2	4
	5	藤沢 優策	8	1	2	1	2
	6	加藤 耕太郎	25		12	1	1
	7	長谷川 凌	4		2		3
	8	金子 準也	2		1		1
	9	甲谷 健太郎					
	10	八木橋 昌幸	16		5	6	2
	11	渡辺 健人	2		1		1
	12	布目 大祈					
	13	田中 遼平					
	14	横山 大輝					
	15	並木 航一					
	16	飯村 陽太郎					
	17	小澤 智之					
	18	吉川 治瑛	17		7	3	1
コーチ		伊藤 恒					
合計			80	1	32	13	

：スターター / 出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦評

記入者：堀田 浩平

春日部はハーフコートマンツーマン、世田谷はオールコートマンツーマンでスタート。春日部 清水のオフェンスリバウンドからのバスケットカウントや 時野谷の3pシュートなどで開始2分で8-2とリードを奪う。対する世田谷は 加藤のジャンプシュートで対抗する。第1P5分、春日部 新田が2つ目のファウルを犯しベンチへ下がると、流れは一気に世田谷へ。世田谷は 藤沢の3pシュートや 八木橋のポストプレイで逆転し、29-21と世田谷8点リードで第1P終了。

第2P、春日部は 藤森の3pシュートや 清水、新田の高さを活かしたプレイで着実に点差を詰める。第2P残り3分半、春日部 新田の3つ目のファウルで苦しくなるが、ここで全員が集中したディフェンスを見せ、逆に点差を詰める。対する世田谷もオールコートマンツーマンで相手のミスを探い、踏ん張りを見せ43-40世田谷3点リードで後半へ。

第3P、世田谷 藤沢のジャンプシュートで先手を取る。春日部も 藤森の3pシュートなどで対抗するが、世田谷のディフェンスの前に攻めあぐねる。残り6分、世田谷 吉川のバスケットカウントで10点差となったところで、春日部タイムアウト。タイムアウト後、春日部は 藤森の1対1や 清水のポストプレイで追い上げようとするが、世田谷も 加藤、八木橋のジャンプシュートで差を縮めさせず、66-57と世田谷9点リードで第3P終了。

第4P、春日部は 清水のブロックシュートから 八木橋のバスケットカウントで流れに乗り、清水のポストプレイ、新田のブロックシュートと一気に点差を縮める。対する世田谷も 加藤のジャンプシュートで追いつかせない。残り5分、春日部 清水が4ファウルとなり、世田谷 加藤がポストプレイで点差を広げにかかると、春日部 倉林の3pシュートが決まり、3点差となると、厳しいディフェンスから相手のミスを探い、シュートにいくが、得点につなげることができない。残り1分半には春日部 清水が5ファウル退場、その後冷静にボールをキープした世田谷が80-73と勝利した。